

浜嶋です。

おはようございます。

ボーイ隊の23日の隊集会報告は、いい報告でしたね。思わず、内賀嶋隊長と豊田副長に感謝のメールを送ってしまいました。

各隊には、隊集会の報告をタイムリーに団メールでしてほしいとお願いしています。

前回の団会議では、プログラムの目標と目的が分かる報告が大切だと各隊指導者に説明しました。

ある保護者から、9月の報告会の目的は何か。目標を達成するためには、どんな準備が必要かを真剣に考えていますか。

ボーイスカウトの使命を全員で共有できていますか。目的を明確にしていないと報告会を開くことが目的になってしまう。

との質問がありました。

きちんと説明をさせていただきました。私の言いたいことはすべてこの中にあります。

プログラムは、目的達成のツールです。ということを忘れてはいけません。プログラムを実施することが目的になるような

計画書を作っているのは、この保護者の心配通りになってしまいます。プログラムを作成したあとに、じっくり目標を組み込む作業に時間を当てると

保護者に満足していただけるボーイスカウト活動になります。これが準備です。

団会議では、このように言っています。

私たちが行っているプログラムは、目的が含まれている。これは自信を持っていいことだ。

大事なことは、指導者がこれを認識しているかどうかだ。

さらにそれぞれのプログラムあるいは隊集会全体の目的を隊指導者で共有し、スカウトに伝えること、そして目的に沿った隊集会運営を行う。

評価は、プログラムが楽しかったこと以外に、目的とその日の成果の説明が重要です。

毎回大きな変化が起きるわけではありません。

でも、指導者は、小さな変化を観察し、一つでも団メールで紹介してもらえたら、2団全体が大きな目標に向かって活動しているということを実感できると思います。

ボーイ隊の報告には、それが含まれていると感じました。ビーバー隊の保護者のメールの中にもそれが取り上げられていました。

各隊で、スカウトの年代が異なりますから、当然目標と目的が異なります。BVS隊は

幼いスカウトのための単なる遊びの中にも目標を持っているはずです。

ボーイスカウト活動の特徴は、

- ・「ちかいとおきて」実践。B V S 隊は「やくそくときまり」、C S 隊は「やくそくとさだめ」。
- ・進歩制度。うさぎからくままで。初級章から菊章まで。ベンチャー章から富士章までの成長のプロセス。
- ・班制度。C S 隊は組活動で組長と次長のリーダーシップを養う。B S 隊は班活動で班長のリーダーシップと隊員の自主性を育てる。V S 隊は、隊会議で隊員の自主性を定てる。プロジェクトで計画の実行方法を学ぶ。

これらを隊集会の実施の中で何を目標して行って、どういう結果になったかを報告してくれたら、分かりやすい。活動のシナリオや楽しかったことに重点を置いた報告では、隊の考え方が伝わりません。

隊指導者は、保護者から預かったスカウトに何をさせてあげたいか、何を実現させたかを説明してほしいと思うわけです。

各指導者の力量が試されますが、指導者も成長途上にある一人の人間です。自由に伸び伸びとやってください。

保護者も同様です。全員が互いに寛容な気持ちで、しかし、ボーイスカウトの活動の共通の目標と目的の達成に向けて努力していきましょう。